

(環探研)  
環境探究学研究会の  
紹介と会員募集

提案者：長濱、向、佐藤、五島  
会長：石田秀輝（東北大学名誉教授）

# （環探研） 環境探究学研究会 リーフレット

## 会員を募集しています

アースウォッチによる「教員フェローシップ」の先生方を通じて、広く会員を募集します。

【会員資格】高校生以上

## 入会のご案内

【高校生】無料 【大学生】1口3,000円

【一般】1口5,000円

年度更新制とします（口数は履歴として蓄積）

まずは「一般会員を100口集める」ことを目標に定め、達成次第、海外派遣費30万円助成（1名）、国内派遣助成2万円（5名）をアースウォッチのプログラムから派遣助成を行います。運営維持費として10万円（2割）とすることで、その結果、教員フェローシップの取り組みが継続可能になります。

## 会員特典

1. 年に数回のニュース配信
2. 研究会のご案内
3. アースウォッチの国内・国外調査の交通費の支給（会の予算取得〔口数〕に応じて抽選）
4. 環境探究学研究会の定例会（口頭・ポスター）  
国内外派遣助成者の報告会、自然科学・人文社会科学を含む環境探究学に関する研究や教育実践の発表への参加資格。（小中高生には表彰あり）

## 申込み

[office@kantanken.net](mailto:office@kantanken.net) 宛にメールにてお名前、e-mail、電話、郵便番号、住所を入力して送信してください。入会申込書・自動振替用紙・自動振替加入申込書を郵送にて送付致します。

## 研究会と場所について

場所：東京大学

地震研究所または農学部1号館

日時：随時開催

詳細は、HP上でお知らせします。

まずはご連絡のほど、お待ちしております。

【申込み】

[office@kantanken.net](mailto:office@kantanken.net) 宛にメールにてお名前、e-mail、電話を入力して送信してください。



「沖永良部島ウシジ浜」撮影：鈴木英文



## 環境探究学研究会

The society of Environmental  
Project-based Research

# The Society of Environmental Project-Based Research Leaflet



## 研究会発足の経緯

ますます深刻になっている地球環境問題の解決に向けて、環境教育の実践を深め、普及啓発活動を進めることが重要ではないかという声が上がっています。私たちは2018年3月から「環境探究学研究会（EW 環境教育研究会から改称）」として、十数回におよぶ研究会を開催してきました。会では、参加者がそれぞれの研究課題を発表し、意見交換の場となっています。

アースウォッチの「教員フェローシップ」に参加した貴重な経験などを、活動報告や発表のみに留めるのではなく、これらの活動の経験を活かし、今後も目に見える形でアーカイブします。報告書や論文にまとめ、教材として編纂し、誰もが参照できるようなオープンサイエンスを目指します。

### 【研究会参加のメリット】

自らの教材として授業で活用できるとともに、活動自体が学術的なキャリアとなります。

## 環境探究学とは

2022年には、高等学校教育で「探究」に関する授業の導入が決定しており（文部科学省高校学習指導要領告示）、今後はその影響が少なからず小中学校の教育活動へも影響が及ぶことが予想されます。「探究」に関する学習においては、アメリカでは2007年より国家戦略として実施されているSTEM教育が導入されており、課題解決学習型（Project-based Learning）の学習として、未来型の人材育成に大きな効果があると考えられています。

私たちは、課題解決型の学習として、「探究学」（Project-based Research）として位置づけ、先駆的に教員フェローシップの経験を「探究」教材として開発を行っています。こうした実践を、本ホームページや出前授業、学会発表を通じて、広く公開できればと考えています。

詳細はHPをご覧ください。  
<http://www.kantanken.net>



## 課題代表と幹事

### 【代表】

石田秀輝（東北大学名誉教授）

### 【理事】

向雅生（東京都立富士高等学校附属中学校  
主任教諭）

五島朋子（東京大学地震研究所特任研究員）

長濱和代（目白大学客員研究員）

佐藤真太郎（埼玉県所沢市立北小学校/  
兵庫教育大学連合大学院博士課程）

## 協力

認定特定非営利活動法人  
アースウォッチ・ジャパン

[www.earthwatch.jp](http://www.earthwatch.jp)

# 会費（口数制）の解説ポイント

## 会員を募集しています

アースウォッチによる「教員フェローシップ」の先生方を通じて、広く会員を募集します。

【会員資格】高校生以上

## 入会のご案内

【高校生】無料   【大学生】1口3,000円

【一般】1口5,000円

年度更新制とします（口数は履歴として蓄積）

まずは「一般会員を100口集める」ことを目標に定め、達成次第、海外派遣費30万円助成（1名）、国内派遣助成2万円（5名）をアースウォッチのプログラムから派遣助成を行います。運営維持費として10万円（2割）とすることで、その結果、教員フェローシップの取り組みが継続可能になります。



## クラウドファンディング的なシステム

（目的）

### 教員フェローシップ

（2019年度で終了）

### の取り組みの継続

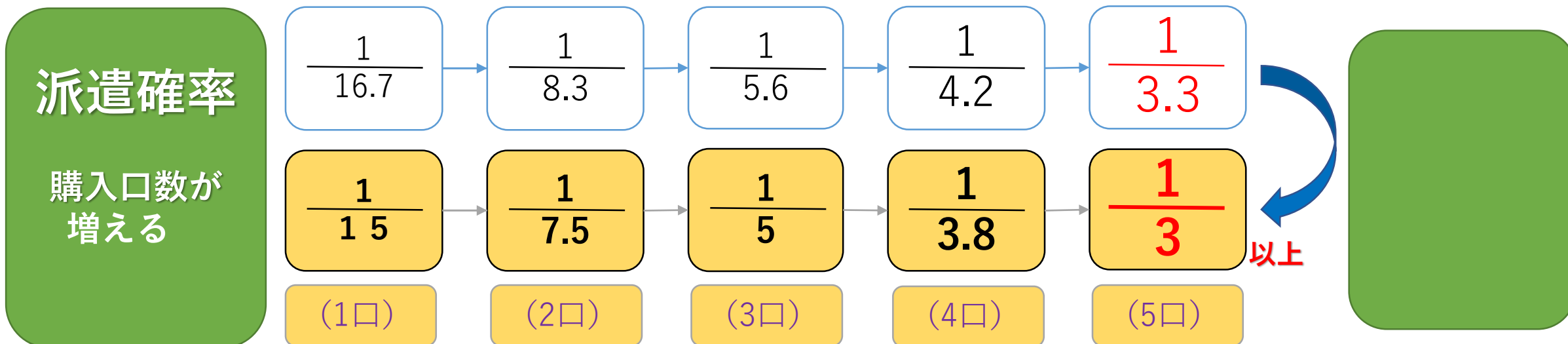
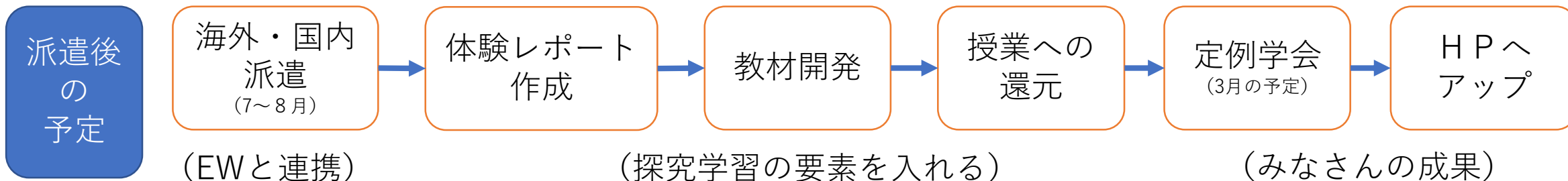
「一般会員を100口集まり次第」  
海外派遣費30万円助成（1名）  
国内派遣助成2万円（5名）をアースウォッチのプログラムから派遣助成を行います。

海外派遣は英語力を加味して抽選

# 口数制

「一般会員を100口集める！」

海外派遣費30万円助成（1名）、国内派遣助成2万円（5名）を  
アースウォッチのプログラムから派遣助成



# 会員特典の解説ポイント

## 会員特典

1. 年に数回のニュース配信
2. 研究会のご案内
3. アースウォッチの国内・国外調査の交通費の支給
4. 環境探究学研究会の定例会  
(口頭・ポスター)  
国内外派遣助成者の報告会、  
自然科学・人文社会科学を含む  
環境探究学に関する研究や教育実践の  
発表への参加資格。  
(小中高生には表彰あり)



4. 環境探究学研究会の定例会大  
(口頭・ポスター・学生コンテスト)

**生徒の発表が無料！！**  
**(小中高生には表彰あり)**

自然科学・人文社会科学を含む  
環境探究学に関する研究や教育実践の発表

**指導者の表彰も検討中！！**

# 会員の成果

一般会員：日本生物教育学会（旭川大会）発表予定（2020年1月11～12日）

「PC×Rサイクルを用いた都立中高一貫校における探究活動の指導方法の構築と実践報告」

○ 向雅生<sup>1,2</sup>, 佐藤真太郎<sup>1,3</sup>, 飯泉恭一<sup>4</sup>, 長濱和代<sup>1,5</sup>, 五島朋子<sup>1,6</sup>, 石田秀輝<sup>1,7</sup>

（<sup>1</sup>環境探究学研究会, <sup>2</sup>東京都立富士高附中, <sup>3</sup>埼玉県所沢市立北小, <sup>4</sup>東北女子大, <sup>5</sup>目白大, <sup>6</sup>東京大地震研, <sup>7</sup>東北大）

高校生会員：学会発表, 投稿論文など（一般会員によるアドバイスの結果）

（1）第54回 X線分析討論会（東京理科大学）

（2）第71回 日本動物学会関東支部大会(中央大学)

（3）サイエンスキャスル2019（シンガポール大会）

「Measurement of Metal Elements Accumulating in the Mandibles of the Beetles (coleoptera) Using an X-ray Analytical Microscope」

The Society of Environmental Project-Based Research (Scientific research club)

【投稿論文】 X線分析の進歩, 50, 271-283 (2019)（査読有り）

「X線分析顕微鏡を用いた 甲虫のオオアゴに蓄積する金属元素の測定」



# 教員 フェローシップを もう一度！

環探研では、一般・大学生会員全員が  
国内外の研究プログラムに派遣対象です！



皆さんの入会を  
お待ちしております！  
企業からご支援も随時募集中！